

## 第92回愛知県中央メーデー アピール

コロナ禍の中で迎えた第92回愛知県中央メーデーは、オンラインを活用した新たな形で仲間とつながることができた。メーデーは1886年に長時間労働に苦しむ米国の労働者が「1日8時間労働」を求め団結したことを起源としている。今日において人と人との接触が制限されている中でも、すべての働く者が結集し、団結するメーデーの意義は今なお変わることはない。どのような状況下においても団結していこう。

東日本大震災から10年が経過した。被災地では復興が進む一方で、日本各地では毎年のように自然災害が発生している。過去の大規模災害の記憶を風化させず、被災地への支援を続けるとともに、より一層の災害対策に取り組んでいく必要がある。また、新型コロナウイルス感染症が社会に大きな影響を及ぼす中、私たちは、感染症と闘いながら社会を支え続けている働く仲間感謝するとともに、感染予防に努め、皆でこの難局を乗り越えていく。

コロナ禍の今、明るい兆しも見え始めてきているが、私たちの雇用と生活への不安は継続したままである。すべての職場で働く仲間とその家族が、安心・安全に働き、暮らすことのできる社会を実現するためには、社会全体のセーフティーネット機能を強化することが必要であり、そのためには働く者の目線に立った政策・制度の実現が不可欠である。今年秋までに施行される第49回衆議院選挙においては、推薦候補者全員の当選に向けて取り組んでいく。

連合愛知は、すべての働く仲間を感謝の絆で繋ぐとともに、関係諸団体との連携を結ぶプラットフォームの役割を担い、今こそ一つになって連合がめざす「働くことを軸とする安心社会ーまもる・つなぐ・創り出すー」の実現に向けて、全力を挙げて取り組むことをここに誓う。

2021年4月

第92回愛知県中央メーデー